

課題の概要

課題	発達障害児者の思春期以降の支援や親との関わり方などを通して、発達障害児者の自立を支援
事業	親子見つめあい事業（発達障害児者の思春期を支える）
課題および事業の内容	<p>（課題の詳細） 発達障害は、その特性として、こだわり、コミュニケーションや対人関係の問題、想像性の欠如などから社会生活に困難を抱えることが多いため、成長過程の中でその時々に対応した支援が必要になる。思春期に抱える困難に対応し、改めて親子関係の再構築を図りつつ、本人の自立を支援する仕組みが必要とされている。</p> <p>（想定する事業内容） 発達障害児への支援は、特別支援教育や児童デイサービス（療育事業）で取り組みをしているところだが、思春期以降の青年への支援の仕組みはまだ始まっていない。発達障害の特性を理解し育ててきた親の経験を活かした支援が、まだ発達障害に気づきのない親や当事者には効果的であり、具体的な取り組みをとおして自立を支援する。</p> <p>（具体的取り組み） 中学生・高校生を対象とした小グループのソーシャルスキル支援・コミュニケーション支援 高校生以上の青年を対象とした交流の場、エンパワメント（自分の持つ能力を自ら発揮できるようサポート）事業 ペアレントトレーニング等の実施による家族支援。親子関係の見つめなおしから始まる家族の役割等の支援 発達障害者サポーター養成事業</p>
実施にあたっての留意点	発達障害に対する周囲への理解促進と並行して実施していく必要があるため、区による理解促進のための啓発事業も合わせて検討する。
提案書にかならず記載してほしい内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発達障害に関する当事者支援としてのNPO団体の実績 ・ 計画事業のスタッフ体制およびスケジュール ・ プログラム等の内容
その他	
選定団体数	単独団体
所管課・係	障害者福祉課・療育支援担当